

しゅっすい き

出水期に備えましょう

～災害時に慌てないための事前準備を～



出水期とは？

6月から10月までの、梅雨や台風のシーズンを「出水期」といいます。

近年は「ゲリラ豪雨」や「線状降水帯」などによって、1時間に100mmを超えるような大雨が降ることも増え、特に災害が起こりやすい時期です。

大雨は天気予報などである程度予測が可能です。日頃の備えと早めの対応で被害を最小限に抑えることができますので、普段からいざという時に備えておきましょう。

最新の防災情報を入手しましょう

大雨をはじめとする災害時には、正しい情報をいち早く入手することが命を守るかぎとなります。災害や避難に関する情報は、様々な手段で入手できますので、最新の情報を常に確認しましょう。

- ・テレビ、ラジオ、気象情報のホームページ
- ・防災行政無線、市公式LINE、市ホームページ
- ・「和歌山県防災ナビ」アプリ、防災わかやまX（旧Twitter）、防災わかやまメール配信サービス
- ・携帯電話会社が提供する緊急速報サービス（エリアメール、緊急速報メール）



御坊市公式 LINE



和歌山県防災ナビ

市公式LINEでは、避難情報等をお知らせします。ぜひ「友だち登録」をお願いします。

浸水を防ぐ「土のう」などの活用

低い土地にある建物の入り口に水が流れ込むのを防ぐためには、「土のう」や「水のう[※]」の活用が有効です。

これらは、雨が降り出す前の準備が肝心です。特に土のうは水分を含むと重くなりますので、早めの対策で浸水を防ぎましょう。

土のうは、市で貸し出しており、必要な方は、危機管理課までお問い合わせください。

（※）水のう：ごみ袋等に水を入れたものを段ボール箱等に入れ、ビニールシートを被せて作成する簡易的な対策です。

「土のう」の積み方

